

青 雲

ひえなえせいきち
— 稗苗清吉とともに —

県議会ニュース

第17号

平成14年10月1日

発行所

ひえなえ清吉事務所

0765-33-9880

生活者の目線で県政を身近に



魚津 — 滑川両市を結ぶ6つの大橋

山手から順に豊隆橋、落合橋とつづき、中流の新月形橋は3年前に完成。(=写真)

すぐ下流の8号バイパスの早月長大橋は平成17年完成をめざし、工事に入っている。旧8号線の早月大橋は健在。海に近い早月橋は来年7月に生まれ変わる。



千田県議と魚津の重点施策陳情

稗苗県議は7月5日、先輩の千田稔県議、石川市長とともに、来年度の魚津市重点要望事項を中沖知事に陳情しました。学びの森天神山交流館の整備、吉島市宮住宅の建て替えなど41件です。

2面 9月県議会
3面 中国(大連)へ

魚津の良さを生かしながら

早月川はさみ提携を

合併問題

市町村合併の論議が加速しています。魚津市議会も9月議会最終日に広域合併問題特別委員会の設置を決めました。魚津商工会議所は青年部らの

提言を踏まえ、浜岡会頭が滑川市との二市合併を石川市長に申し入れたことを稗苗県議は重視。合併するならば、早月川をはさんでの両市提携が、

稗苗清吉と話してみませんか?

稗苗県議とティータイムを楽しみませんか。県政への素朴な疑問、困っていること、提案大歓迎。

ピアノ演奏や着物のファッションショー、商工会議所青年部の合併問題のスライドも。

とき 10月23日(水)
夜 6:30~8:30

ところ 新川文化ホール
(小ホール)

おだい 500円
(ケーキ&ドリンク付)

稗苗後援会女性部「わらび会」

歴史的なつながり、企業活動や住宅建設で一体化しつつあることで、魚津の良さを生かせる現実的な方向だと判断しています。

もちろん、合併は結婚と同じく相手のある話。滑川市の動向によっては、魚津市が単独で自立していく道を視野に入れよと付言しています。

9月県議会で7度目の一般質問

先月13日から始まった9月議会で、神苗県議は20日に一般質問に立った。7度目とあって、メリハリをきかせながらユーモアも交えるなど堂に入った質問で、後援会員のいる傍聴席を喜ばせました。質問の要旨は次の通り。

無登録農薬の使用実態は？

食品の安全・安全に消費者は神経質になっていて、県内の無登録農薬の使用実態と流通経路の確認はどうなっているか。

風評被害に対する生産者対策も合わせて問いたい。

道路交通法改正後の交通事故の実態はどうか。県民に、どうPRしているか。

棚田保全・農村集落支援を

中山間地直接支払制度は5年間の時限措置だが、終了後の農家の自立支援体制は？

「有峰文化村」で県民の山村体験を

8月3日に「有峰の道を歩むと心はゆっくり清らかになる」をキャッチフレーズに森林文化村が開村し、私も出席した。文化村の村民登録の現況は

どうか。全国的な募集より県民が過去の山村文化や自然環境を身をもって体験すべきことをPRすべきだ。道中の携帯不傍受地帯も解消せよ。

河川の汚れなくし富山湾をきれいに

富山湾の汚れ防止には、流入する河川の汚れを浄化・防止することが重要だ。県内河川の水質調査はどうなっているのか。

魚津の鴨川でも「サケを呼ぶ会」が15年前から小学生も加わり、幼魚を放流している。夏場の早月川や片貝川の水枯れも防止して欲しい。

称名の滝見台で停車したら

映画「釣りバカ日誌13」の効果を活用し、本県の観光PRを推進すればどうか。

中国への企業移転 県内の空洞化懸念

北電の電力料金値下げは、県内企業にプラスになったと思うが、生産企業の海外進出に歯止めがかからない状態だ。中国への生産拠点移転が国内経済にもたらす影響、下請中小企業支援、県内産業の空洞化対策を進めるべきだ。



議長・副議長席を背にメリハリをつけて質問をする神苗県議



傍聴席は神苗後援会で占拠(?)された感じ。熱心に耳を傾ける皆さん=9月20日、午前

映画「釣りバカ日誌13」の効果を活用し、本県の観光PRを推進すればどうか。立山に今夏、2度も頂上まで登ってきたが、帰りのバスで車酔いした。混雑解消と快適な観光への対策は？豪快な称名滝を写真におさめられるよう滝見台で10分間くらいバス停車が必要だ。立山黒部の世界遺産登録と黒部ルート開放を進める協議



魚津市制50周年のイベントとしてミラージュ・ギャザリング・フェスティバルが7月27日、桃山特設ステージで開催。稗苗県議も県からの助成を得るよう努力した。写真は得意のノドを披露する「新川相撲甚句」



7月10～11日、県議会建設常任委は「脱ダム宣言」で中止となった長野の浅川ダム予定地を視察。稗苗県議は「代替の治水計画、住民の理解が必要」と述べる。

稗苗県議 大連・瀋陽を訪問

日中国交正常化30周年にちなみ稗苗県議ら5人は、県議会を代表して7月20日から24日まで、本県と友好県省の関係にある中国遼寧省の大連と瀋陽の両市を訪問しました。



木下食品（こんにゃく製造）らを視察

一行は、「日本週」の開幕式に出席するとともに（＝写真）魚津から大連に進出している木下食品（こんにゃく、山菜加工）などを視察。瀋陽省政府要人と会談し、現地に富山県事務所開設の瀬踏みも。「中国は世界の台所になるが、環境汚染も深刻で、日本の協力が欠かせない」と稗苗さん。

官公庁視野に合併の論議を

魚津市が新川地方随一の発展を遂げた原動力は国・県などの出先機関や学校が多く設置されたことにある。現在の魚津にある官公庁は下・中両郡を管轄している。もし中新川地方の市町村が魚津と合併しなかった場合は、魚津の官公庁が縮小・統合される恐れがある。滑川の登記所（滑川・上市・舟橋を管轄）は現在魚津支

局の管轄下だが、法務省は滑川がどのような枠組みで合併するかで、統合先を決めるだろう。

市広報、議会だよりを見て、官公庁の存在を視野に合併論が展開されていないことは驚きだ。要は新川広域圏にとられず、多少の犠牲も覚悟の上で中新川との合併を実現させたい。

「青雲」16号を読み、合併不成立の場合、魚津市単独で進むことに大賛成であります。（市内本新・一市民）

市民からのご意見・提言

普及進めたいゲートボール

ゲートボールは昭和22年、北海道芽室町の製パン業者、鈴木和伸が、子供たちに健全な遊びをと、野球とゴルフを参考に考案されたものだが、定着までに苦難の日々が続いたようである。

昭和50年代に入って、老人たちに爆発的に流行。魚津市内でも最盛時に40チーム、3百人を数えた。

その後、「意地悪ゲームだ」「老人のスポーツ」など間違った認識や、抬頭してきたベタンクやパークゴルフに追い抜かれ普及の妨げとなっている。もともとゲートボールは頭の運動でもあり、ボケ防止にも役立つ。

今後は考案者の原点に還って老若男女はもちろん、学校週五日制とも絡み、青少年へ働きかけていきたい。

（本井 尚身・市ゲートボール協会会長）

主な稗苗県議日程

<7月>

- 2日 自民党福祉部会視察(千葉、東京)
- 8日 中央陳情(東京)
- 10日 建設常任委員長野視察(～11日)
- 14日 市連婦50周年式典
- 19日 景観を考える懇談会
- 20日 中国、大連視察(～24日)
- 27日 消防操法大会
- 29日 河川開発促進同盟会

<8月>

- 2日 魚津-滑川8号バイパス陳情
- 3日 有峰森林文化村開村式
- 4日 市町村合併シンポ
- 6日 農林水産議連県内視察
- 7日 建設企業常任委(立山砂防)
- 10日 新幹線黒部トンネル
- 12日 戦没者追悼式
- 19日 早月長大協建設促進協議会
- 23日 パークゴルフ場完成式
- 24日 夕日のページェント
- 28日 北陸新幹線安全祈願祭

<9月>

- 1日 ゲートボール大会
- 4日 新川地域推進協議会県要望
- 5日 早月・角川陳情(県土木ほか)
片貝公民館高齢者学級
- 7日 棚田バスツアー
- 8日 明るい社会づくり大会
- 13日 9月県議会(～27日)
- 19日 商工会議所歴代表
- 21日 立山・黒部全国観光促進協
- 22日 県民芸術文化祭
- 24日 西部デイサービスセンター
- 26日 水産振興議連魚津市ほか視察
- 30日 予算要望

<10月の予定>

- 2日 建築審査会
- 5日 魚津工業高校40周年
- 6日 県芸術文化祭茶会
- 17日 私立幼稚園大会
- 22日 知事まちまわり
- 24日 早月・角川パークゴルフ大会
- 26日 食祭とやま
- 29日 建設業協会50周年

稗苗県議には様々なご意見、ご要望が頻繁に寄せられます。稗苗さんの誠実な対応で皆様のご信頼が高まっています。すれば、感謝、感謝。

編集後記

稗苗県議への連絡

事務局 TEL 33-9880
FAX 33-9881
議員宅 TEL 33-9534
FAX 33-9458

Eメール hienae@cronos.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.nukk.co.jp/~hienae/

県政報告会(夏季研修会)に200人

県人は 阿部厚生部長が講演 施設志向

第3回夏季研修会(県政報告会)は8月24日、200人が参加し、阿部厚生部長から介護保険の話の話を聞きました。

講演で阿部氏は、高齢化の原因は戦争中の「産めよ殖やせよ」のツケがまわってきたから、と指摘された。



阿部厚生部長は厚生省時代、イ病や水俣病、所沢のダイオキシンなどにかかわってこられたとあって、話題豊富でした。＝8月24日、東京第一ホテル魚津

県議選の顔ぶれ 固まり臨戦体制

県政報告会・夏季研修会の終わりに、袋井隆俊さんから、「この会を総決起大会に切り替え、明春に迫った県議選に即応すべき」との緊急提案がありました。石橋嘉夫後援会長は、この提案に感謝しながら、

堂々とあわてず ぶれず進もう!

「千田県議の引退、高野前県議と古金市議の出馬表明で、来春の選挙戦の構図が決まった。私たちは相手が誰であろうと、稗苗県議の再選を目指して一致団結して進みたい」と述べ、皆様のご理解を求めました。

その中で本県の福祉レベルは、今後5年間の介護支援計画を前倒して整備するなど全国トップだと話された。

ただ介護サービス利用者が、全国が在宅7対施設3なのに、本県は6対4と施設好き。そ

のため費用は全国の在宅4対施設6が、本県は在宅3対施設7と給付がかさんでいる、と。高齢者の9割は元氣だからボランティア、趣味を生かし福祉の街づくりが必要だと結ばれた。



第4回稗苗清吉を囲むゴルフ大会(7月6日、75名参加)で優勝した上野高義(左)さんを称える石橋後援会長(2位)池田茂、3位中山篤さん)